

坂本健太郎通信 第1号 (2026年2月9日発行)

市民の声から考える



市議会議員として活動を始めて約3年、当初は議会の仕組みや進め方に戸惑いながらも、一般質問や委員会での議論を重ねる中で、少しずつ議員としての役割と責任の重さを実感してきました。事業や制度をそのまま受け入れるのではなく、「市民生活への影響や背景」を意識しながら問いを立て、質問の切り口や論点の整理の仕方を変えることで、議論が一步前に進められたと感じるなど、議員として学びながら成長を実感できた場面も増えてきています。

また、市民から寄せられる相談や声に丁寧に向き合い、共に考え提案を重ねてきたこと、そしてタウンミーティングなど対話を重視した活動を継続してきた点は自分にとって大きな柱です。今回、初めて活動報告書を発行します。これまでの活動の歩みと考えを共有しながら、今後も市民の皆さまとの対話を大切に、より良い新庄を目指していきます！

1 一般質問

議員就任以降、これまでに11回の定例議会が開催され、そのすべてにおいて一般質問を行ってまいりました。

一般質問は、市民の皆さまから寄せられた声や課題を市政に届けるための大切な機会です。本通信では、令和7年12月定例議会における一般質問の内容について以下に報告いたします。

「熊が出た!!その時、地域を守るのは誰か」 — 持続可能な熊対策を問う

近年、熊の市街地への出没が急増し、市民の不安が大きくなっています。私は一般質問で、最前線で命がけの対応を続ける猟友会の皆さんが、



高齢化や低報酬、捕獲後処理まで担う過酷な現状に置かれていることを訴えました。市長からは、負担増を認識し装備品支援を行ったこと、今後は

市民協力による放置果樹の伐採や環境整備、補助制度の検討、国の森林環境税を活用しながら中期的対策を進めていくとの答弁がありました。地域全体で安全を守る仕組みづくりを、これからも前に進めていきます。

「地域を支える人が、希望を持てる制度へ」 — 指定管理職員の処遇改善を問う

地域の公共施設職員が誇りを持って、安心して働ける環境が必要です。私は「処遇改善の原資となる適正利益」に関する市の制度上の位置づけを問い、市長は「人件費や福利厚生費の反映を進めている」と答弁。現場の声を受け止め、持続可能な制度運営をめざすとの方針が示されました。今後も継続してこの問題を注視していきます。

「部活動の地域展開は進んでいるのか」 — 環境整備を問う

部活動の「地域展開」が進む中で、練習時間や指導者不足など現場の声を踏まえ、市長に支援体制を問いました。教育長は「30団体が活動中」「教育的意義を継承し新たな価値を創出していく」と答弁。練習時間等にかかる規制の見直しについても着手しているとの回答がありました。練習環境や送迎の課題もあり、引き続き環境整備と支援を求めています。

新庄市議会 検索

議会の様子は動画でも
ご覧頂けます。
右 QRコード
からCheck!



市政のことや、日々の暮らしの中で気になっていることなど、どんな小さなことでも、気軽に声をおかけください。「これってどうなんだろう?」という一言が、次の議論や提案につながります。皆さまの声を大切に、今後も活動していきます。

SAKAMOTO TIMES

2 視 察



市議会活動の質向上のため政務活動費を活用し研修・視察を実施しています。令和7年度は全国の議員が集まる研修(全国地方議会サミット)に参加し、議会改革の動向や、市民・若者の声を政策に生かす方法、SNSや生成AI等の新技術と議会の関わり方を学びました。特に、議会が対話の場を設けて意見を聞き、それで終わりにせず、政策や提案としている自治体の取り組みが印象的でした。副委員長を務める議会改革推進委員会で、この学びを新庄市の実情に即し提案し、改革に生かしていきます。

3 タウンミーティング

議員就任後は市民と直接対話する場としてタウンミーティングを継続開催し、暮らしの不安や新庄の未来への思いを率直に共有してきました。回を重ねるごとに参加者同士の対話も深まり、好評の声が増えています。

令和8年2月22日(日)には第3弾を開催予定です。



より参加しやすく本音で語れる場を目指して準備中です。今後も対話を起点に、市の声を議会の議論や提案へとつなげてまいります。ぜひご参加ください。

4 日々の活動

① 消防団

消防団の一員として、防火呼びかけや点検、防災訓練などに参加しています。令和6年度の大雨災害では排水作業に従事しました。災害はいつ起きるかわからないからこそ、日頃から地域の皆さんと顔を合わせ、声をかけ合える関係づくりを大切にしながら関わっています。



② 万場町「よろず市」、若連

地元万場町では、よろず市に関わっています。地域の方々と一緒に、まちなかに人が集う機会づくりに参画しています。

新庄まつりでは万場町若連で山車づくりに参加しています。



③ みまーも・もがみ

高齢者や子ども、若者の居場所づくりに取り組む「みまーも・もがみ」の活動に関わっています。車いすの体験会等にも参加し、地域の中に安心して過ごせる場所があることの大切さを痛感しています。



④ 若者支援



高校生が主体となったチーム「WATS」をご存じですか？今年は新庄まつりに関した自主映画制作など、若い世代の地域活動を支援しています。若者の関心や得意分野を生かして地域と関わる経験が積めるよう見守りつつ、大人や地域との橋渡しを行っています。

⑤ 学びの土壌づくり勉強会

公約にもあるとおり教育は議員活動の大きな柱の一つです。学びの土壌づくりに関する勉強会では、子どもの育ちや学びを支える視点等を学んでいます。地域で共通の理解者、実践者を少しずつ増やし、議場でも発言していきます。

タウンミーティング 第3弾 開催のご報告

去る令和8年2月22日(日)にタウンミーティングを開催いたしました。

第1部は約60名、第2部は約30名の方々にご参加頂きました。「地域のこれから」について 有意義な対話ができました。

詳細は右記QRコードから→



坂本健太郎通信 第1号 (2026年2月9日発行)

発行元／坂本健太郎 (新庄市万場町13-17 TEL0233-77-4196)